

生コンの品質管理体制

—「マル適マーク」合格証の推進—

ACTIVE KUMIAI

山梨県生コンクリート工業組合

山梨県生コンクリート工業組合(瀧田雅彦理事長)は、生コンの技術の普及推進、新技術への対応、技術レベルの向上等の幅広い活動を繰り広げている。その活動の一環として、山梨県コンクリート技術センター共同試験場を設置し、国土交通省、経済産業省、山梨県の認定を頂き、社会的評価の高い試験場として活動を行っている。



コンクリート技術センター共同試験場を併設した組合事務所

当業界の品質管理監査活動としては、技術委員会での研修会、共販研修会、コンクリート技術研修会などを行い、生コンを提供するための品質の確保の目的や、人材育成・技術者の資質向上を目指している。

その他にも、生コンの品質確保のため、全国生コンクリート品質管理監査会議の定める判定基準に適合していると判断された工場に対して交付される「マル適マーク」の合格証の推進を行っている。この合格証は、購入者からの信頼性を高めることを目的に、生コンの品質管理の透明性及び公正性を確保し品質管理体制の確立を図るため、全国共通の「全国統一品質管理監査基準」の中の「レディミクストコンクリート全国統一品質管理監査チェックリスト」に基づき、各都道府県で生コン工場の立ち入り検査を実施しての合格証を交付している。マル適マークの承認は全国統一基準の品質管理合格工場の証明と言われている。



「マル適マーク」

今後の活動については、「リニア中央新幹線本線」や「中部横断道」建設工事、環境に配慮した新需要開拓の推進などにも取り組み、地域社会に貢献していくとともに、業界の発展に取り組みたいと考えている。